

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度（令和2年度）	科目名	特別講座3		
科目基礎情報						
開設学科	AIシステム科	コース名	—	開設期 前期		
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 15時間		
単位数	1単位	開講時間		授業形態 講義		
教科書/教材	資料を配布する					
担当教員情報						
担当教員		実務経験の有無・職種				
学習目的						
最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、異なる環境にいる人の交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。知的好奇心を刺激すること、他者に対する想像力、発想力を養うことができる。						
到達目標						
最新技術動向に深く関心を持ち、主体的に勉強会、カンファレンス等に参加するようになることを目標とする。さらに、就職活動をする上で自らの目指す業界、人材像を定めることができるようになる。ダイバーシティーが求められる時代に沿って多様な価値観を持つ他者に対して、想像力を持って接し、思いやりを持つことを目指す。また、聴講レポート作成を通して文章作成能力を向上させ、情報を整理して発表するための論理的思考力を養うこととする。						
教育方法等						
授業概要	外部講師による講義となるため、各講師ごとに事前調査、聴講、聴講結果報告の3ユニットで実施する。聴講内容の理解がより深まり有意義なものとなるため、事前調査は必ず行い、重視する。授業時間外での主体的な予習も奨励する。学生の知識定着のため、聴講しただけで終わらず、必ず聴講結果レポートも作成する。外的環境との関わりにおけるビジネススキル向上を意識し、受講マナーについても指導を行う。					
注意点	主体的に学習する姿勢を重視する。具体的には事前調査の精度、外部講師への積極的な質問、関わりを評価する。聴講後のレポートには、聴講内容を羅列するだけではなく、自らの考えや新たに学習した事柄について調査した結果等を記載することを求める。講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	0%				
	レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～5回） 1回（3）時間 ※45分を1時間とする						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	事前調査	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる				
2回	事前調査報告	GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う				
3回	聴講	GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う				
4回	聴講結果報告	聴講内容を振り返り、新たな知識を定着させることができる				
5回	聴講結果報告・まとめ	結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる				